

ロボット戦略II 世界成長ファンド

愛称: あんしんロボ

第6期運用報告書（全体版） （決算日 2021年5月25日）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。


商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2018年7月17日から2023年11月27日まで	
運用方針	値上がり益の獲得を目指して運用を行います。	
主要運用対象	アイルランド籍投資法人「マン・ファンズ・VI plc」のサブファンドである「マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）」および国内の証券投資信託である「T&Dマネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象とします。	
	マン・ファンズ・VI plc-マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）	デリバティブ取引を積極的に活用し、世界各国の株価指数先物、債券先物、インフレ連動債、クレジット・デフォルト・スワップ、コモディティ・インデックス・スワップ等を主要投資対象とします。
	T&Dマネーアカウントマザーファンド	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 有価証券先物取引等の派生商品取引の指図は行いません。	
分配方針	毎決算時（5月と11月の各25日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「ロボット戦略II 世界成長ファンド」は、2021年5月25日に第6期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	債券先物比率	マン・ファンズ・VI plc-マン・AHL・ターゲットリスク-日本円クラス(ヘッジ付)組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率				
2期(2019年5月27日)	円 10,019	円 300	% 9.1	% —	% —	% 97.4	百万円 1,957
3期(2019年11月25日)	10,019	1,000	10.0	—	—	95.2	2,647
4期(2020年5月25日)	9,676	0	△ 3.4	—	—	95.0	7,187
5期(2020年11月25日)	10,023	250	6.2	—	—	95.8	7,368
6期(2021年5月25日)	10,040	250	2.7	—	—	95.7	5,791

(注) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること・指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	債券先物比率	マン・ファンズ・VI plc-マン・AHL・ターゲットリスク-日本円クラス(ヘッジ付)組入比率
		騰落率			
期首(前期末) 2020年11月25日	円 10,023	% —	% —	% —	% 95.8
11月末	10,091	0.7	—	—	95.4
12月末	10,154	1.3	—	—	97.5
2021年1月末	10,248	2.2	—	—	97.8
2月末	10,190	1.7	—	—	94.9
3月末	10,186	1.6	—	—	95.2
4月末	10,300	2.8	—	—	95.0
期末 2021年5月25日	10,290	2.7	—	—	95.7

(注) 基準価額は1万口当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

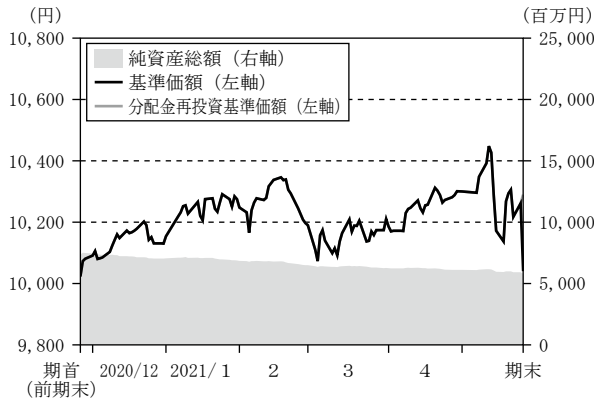
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること・指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第6期首：10,023円

第6期末：10,040円（既払分配金250円）

騰落率：2.7%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2020年11月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れている「マン・ファンズ・VI plc-マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）」において、国債セクターがマイナス寄与し、インフレ連動債はほぼ中立となりましたが、株式、社債、商品セクターがプラス寄与し、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
マン・ファンズ・VI plc-マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）	3.3%
T&Dマネーアカウントマザーファンド	△0.0

■ 投資環境

【株式市場】

期初から2021年1月中旬にかけては、欧米での新型コロナウイルスワクチンの接種開始や、米国で民主党大統領の下、議会も上下両院とも民主党が多数派となったことで、バイデン新政権による追加経済対策への期待を背景に株価は上昇しました。1月下旬には、個人投資家を中心とした投機的売買の影響による米国株式市場の一時的な不安定化等を受けて株価は弱含みしました。2月から4月中旬にかけては、米長期金利上昇や新型コロナウイルス変異株の感染拡大などが時折重しとなりつつも、米国の新型コロナウイルスワクチンの接種進展による経済活動正常化への期待や追加経済対策の成立などを背景に、株価は上昇基調で推移しました。そのなかで、中国では、当局による金融引締め観測や新疆ウイグル自治区での人権侵害に対する米国やEU（欧州連合）による制裁措置の発表を背景に、株価が軟化しました。期末にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染再拡大や米国のキャピタルゲイン課税の強化、インフレ加速に対する警戒等から株価は上値が重くなりました。

【債券市場】

期初から2020年12月末にかけては、新型コロナウイルスの感染状況やワクチンの接種開始などを巡り、金利は方向感を欠く展開となり、概ね横ばいとなりました。2021年1月から2月末にかけては、米国では、バイデン新政権が発表した追加経済対策や新型コロナウイルスワクチンの接種進展による経済活動正常化への期待を背景にインフレ懸念が高まり、金利が大幅に上昇しました。欧州や日本でも、米国に追随し金利が上昇しました。3月には、FRB（米連邦準備制度理事会）が金利の上昇をさほど警戒していない、との見方を受け、米国では金利が一段と上昇する一方で、ECB（欧州中央銀行）の債券購入ペース引上げ決定や日銀の金融緩和継続の姿勢を受け、欧州や日本では金利上昇が抑制されました。4月に入り、米国では、金利上昇が一服し、期末にかけては、金融政策への思惑やインフレ懸念を巡り金利は上下し、方向感を欠く展開となりました。その間、欧州では、新型コロナウイルスワクチンの接種進展を受けた景気回復期待から金利が上昇し、日本では、国内の新型コロナウイルス感染再拡大を受け下落するなど、各国まちまちで推移しました。

【その他市場】

インフレ連動債は、資源価格上昇や景気回復への期待から期待インフレ率が上昇基調で推移するなか、各国まちまちの展開となりました。米国では、期初から2020年12月末は実質金利の低下から堅調に推移し、2021年1月から3月下旬にかけて国債金利の大幅な上昇を受けた実質金利の上昇で大きく軟化した後、期末にかけて再び堅調に推移し、期を通じては概ね横ばいとなりました。欧州でも、国債金利の上昇を受けて実質金利が上昇する場面もありましたが、インフレ懸念の加速から、期を通じては実質金利が低下し、堅調となりました。英国では、2月に実質金利が上昇した以外は、概ね横ばいで推移し、軟調となりました。

社債は、1月には米国株式市場の一時的な不安定化を受けたリスク回避の動き、2月下旬以降には米長期金利の上昇などを背景に、信用スプレッド（信用リスクを反映した上乗せ金利）が拡大する場面もありましたが、米国の追加経済対策や新型コロナウイルスワクチンの接種進展による経済活動正常化への期待を受け、期を通じては、信用スプレッドがじりじりと縮小しました。

商品指数全体では、期初から2月末まで上昇後、3月にやや弱含み、期末にかけて再び上昇しました。原油価格や銅などのベース金属は、新型コロナウイルスの感染拡大による需要悪化懸念等が上値を抑える場面もありましたが、米国の新型コロナウイルスワクチンの接種進展による経済活動正常化への期待や中国のインフラ投資による需要増加観測などを背景に、上昇基調で推移しました。穀物、ソフト商品は、天候不順に伴う生産減や中国の輸入増加、市場予想を下回る作付け予定農地面積等を背景に、幅広く価格が堅調となりました。一方、金価格は、米国の財政支出増加観測を巡るインフレヘッジや金利動向を材料に上下し、期を通じては小幅な値動きとなりました。

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の $\Delta 0.10\%$ から期末は $\Delta 0.13\%$ となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

「マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）」の組

入比率は概ね高位を保ちました。また、「T&Dマネーアカウントマザーファンド」を組入れました。

【マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）】

世界各国の株価指数先物、債券先物、インフレ連動債、クレジット・デフォルト・スワップ、コモディティ・インデックス・スワップ等の幅広い資産クラスを投資対象とし、コンピュータープログラムを利用してポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させることで、中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いました。

【T&Dマネーアカウントマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は基準価額水準、市況動向等を勘案し、250円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

「マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）」の組入比率を高位に保ち、「T&Dマネーアカウントマザーファンド」を組入れた運用を行う方針です。

【マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）】

世界各国の株価指数先物、債券先物、インフレ連動債、クレジット・デフォルト・スワップ、コモディティ・インデックス・スワップ等の幅広い資産クラスを投資対象とし、コンピュータープログラムを利用してポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させることで、中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。

【T&Dマネーアカウントマザーファンド】

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大の影響から厳しい状態が続くとみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの感染拡大などの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2020年11月26日から2021年5月25日まで)

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2020/11/26～2021/5/25		
	金額	比率	
平均基準価額	10,194円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	46円 (17) (27) (2)	0.447% (0.164) (0.267) (0.016)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 (監査費用)	1 (1)	0.009 (0.009)	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	47	0.456	

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、1.87%です。

総経費率 (①+②+③)	1.87%
①当ファンドの費用の比率	0.92%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.75%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.20%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

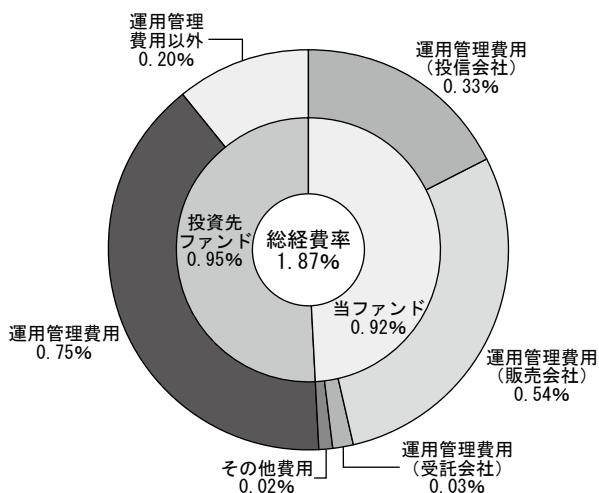
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く)です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



売買および取引の状況 (2020年11月26日から2021年5月25日まで)

(1) 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	マン・ファンズ・VI plc-マン・AHL・ター ゲットリスクー日本円クラス (ヘッジ付)	口 —	千円 —	口 137,761	千円 1,735,000

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

当期における設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等 (2020年11月26日から2021年5月25日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2021年5月25日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
マン・ファンズ・VI plcーマン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス (ヘッジ付)	口 574,393	口 436,632	千円 5,540,445	% 95.7

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
T&Dマネーアカウントマザーファンド	千口 49	千口 49	千円 49	千円 49

(注) T&Dマネーアカウントマザーファンド全体の受益権口数は198千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2021年5月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
マン・ファンズ・VI plcーマン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス (ヘッジ付)	千円 5,540,445	% 91.8
T&Dマネーアカウントマザーファンド	49	0.0
コール・ローン等、その他	492,068	8.2
投資信託財産総額	6,032,562	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年5月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	6,032,562,044円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	492,066,970
マン・ファンズ・VI plc-マン・AHL・ターゲッ トリスクー-日本円クラス(ヘッジ付)(評価額)	5,540,445,138
T&Dマネーアカウントマザーファンド(評価額)	49,936
(B) 負 債	240,672,490
未 払 収 益 分 配 金	144,225,957
未 払 解 約 金	66,154,795
未 払 信 託 報 酬	29,711,256
未 払 利 息	809
そ の 他 未 払 費 用	579,673
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	5,791,889,554
元 本	5,769,038,306
次 期 繰 越 損 益 金	22,851,248
(D) 受 益 権 総 口 数	5,769,038,306口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	10,040円

- (注) 期首元本額 7,351,321,648円
 期中追加設定元本額 464,817,730円
 期中一部解約元本額 2,047,101,072円
 (注) 1口当たり純資産額は1.0040円です。

損益の状況

当期 自2020年11月26日 至2021年5月25日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 81,234円
支 払 利 息	△ 81,234
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	178,461,386
売 買 益	215,739,260
売 買 損	△ 37,277,874
(C) 信 託 報 酬 等	△ 30,290,929
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	148,089,223
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 90,780
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	19,078,762
(配 当 等 相 当 額)	(△ 41,587)
(売 買 損 益 相 当 額)	(19,120,349)
(G) 合 計(D+E+F)	167,077,205
(H) 収 益 分 配 金	△144,225,957
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	22,851,248
追 加 信 託 差 損 益 金	19,078,762
(配 当 等 相 当 額)	(△ 41,587)
(売 買 損 益 相 当 額)	(19,120,349)
分 配 準 備 積 立 金	3,853,720
繰 越 損 益 金	△ 81,234

- (注) 損益の状況の中で
 (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
 (C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(148,079,677円)および収益調整金(19,039,115円)より、分配対象収益は167,118,792円(1万口当たり289円)であり、うち144,225,957円(1万口当たり250円)を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位:円・%、1万口当たり・税引前)

項目	当期
	2020年11月26日 ～2021年5月25日
当期分配金	250
(対基準価額比率)	2.430
当期の収益	250
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	39

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

※元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

補足情報

T&Dマネーアカウントマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当期における売買はありません。

T&Dマネーアカウントマザーファンドの組入資産の明細

当期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	アイルランド籍／外国投資法人／円建
運用の基本方針	中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主要投資対象	デリバティブ取引を積極的に活用し、世界各国の株価指数先物、債券先物、インフレ連動債、クレジット・デフォルト・スワップ、コモディティ・インデックス・スワップ等を主要投資対象とします。
投資態度	<ul style="list-style-type: none"> ・投資運用会社独自の数量モデル「マン・ターゲットリスク戦略」に基づき、デリバティブ取引を積極的に活用します。 ・世界各国の株価指数先物、債券先物、インフレ連動債、クレジット・デフォルト・スワップ、コモディティ・インデックス・スワップ等の幅広い資産クラスに投資します。 ・システマチック・アルゴリズムを利用してポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させます。 ・目標ボラティリティ水準を維持することにより、あらゆる市場環境において超過収益の獲得を目指します。なお、目標ボラティリティは10%とします。 ・デリバティブ取引において、レバレッジを活用します。 ・投資運用会社の判断により、ショートポジションを構築して保有しているロングポジションを相殺し、ポジションを削減する場合があります。 ・資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・有価証券（先物等のデリバティブ取引は含みません。）の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借入れは行いません。 ・一発行会社の発行する譲渡可能な証券、金融市場証券の組入れは、原則として10%以下とします。 ・店頭デリバティブ取引におけるカウンターパーティーへのリスクエクスポージャーは、原則として純資産総額の5%以下とします。
決 算 日	毎年12月31日
分 配 方 針	原則として分配は行いません。
管 理 会 社	マン・アセット・マネジメント（アイルランド）リミテッド
投資運用会社	AHL パートナーズ LLP

※次ページ以降の記載は、マン・グループ・ジャパン・リミテッドより入手した「マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスク」の監査済報告書および保有明細をもとに作成しております。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

※「マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）」は、「マン・ファンズ・VI plc」のサブファンドである「マン・AHL・ターゲットリスク」が発行する円建て外国投資信託証券です。

マン・ファンズ・VI plc—マン・AHL・ターゲットリスク

(1) 損益計算書

計算期間：2020年1月1日～2020年12月31日

単位：米ドル

収益

損益通算後の金融資産・負債の純増減額	398,636,288
払い戻し費用	3,896,016

収益合計	402,532,304
-------------	--------------------

費用

運用報酬	20,704,017
事務代行費用	8,317,403
その他費用	592,557
保管費用	419,647
弁護士費用	73,230
監査費用	28,210
役員報酬	10,110

費用合計	30,145,174
-------------	-------------------

受益証券保有者に帰属する純損益	372,387,130
------------------------	--------------------

(注) 日付は現地基準です。

(注) 「マン・ファンズ・VI plc—マン・AHL・ターゲットリスク」における「日本円クラス（ヘッジ付）」の持分比率は7.0%です。なお、持分比率は監査済報告書の情報をもとに当社が算出したものです。

(2) 組入資産の明細

作成基準日：2020年12月31日

(A) 国債

銘柄名	数量	評価額
フランス		米ドル
France Treasury Bill BTF 0% 24/02/2021	50,000,000	61,246,019
France Treasury Bill BTF 0% 24/03/2021	50,000,000	61,274,160
French Discount T-Bill 0% 27/01/2021	50,000,000	61,213,289
French Republic Government Bond Oat 0.7% 25/07/2030	181,850,555	270,339,220
小計		454,072,688
ドイツ		
Deutsche Bundesrepublik Inflation Linked Bond 0.5% 15/04/2030	208,061,550	306,028,148
イギリス		
United Kingdom Gilt Inflation Linked 0.125% 22/03/2029	223,124,400	391,618,345
アメリカ		
United States Treasury Bill 0% 04/02/2021	50,000,000	49,997,676
United States Treasury Bill 0% 04/03/2021	50,000,000	49,994,770
United States Treasury Bill 0% 11/02/2021	50,000,000	49,997,143
United States Treasury Bill 0% 13/05/2021	50,000,000	49,986,555
United States Treasury Bill 0% 18/02/2021	50,000,000	49,996,119
United States Treasury Bill 0% 21/01/2021	50,000,000	49,999,044
United States Treasury Bill 0% 25/02/2021	50,000,000	49,995,588
United States Treasury Bill 0% 25/03/2021	50,000,000	49,992,172
United States Treasury Bill 0% 28/01/2021	50,000,000	49,998,329
United States Treasury Inflation Indexed Bonds 0.125% 15/10/2024	210,082,230	225,293,232
United States Treasury Inflation Indexed Bonds 0.25% 15/07/2029	318,618,350	360,796,152
小計		1,036,046,780
合計		2,187,765,961

(B) クレジット・デフォルト・スワップ

売り		
銘柄名	数量	評価額
欧州		米ドル
ITraxx Europes 34V1 5 Years 100bps 20 December 2025	(435,000,000)	13,865,257
ITraxx Xovers 34V1 5 Years 500bps 20 December 2025	(190,000,000)	27,619,023
小計		41,484,280
アメリカ		
NAHYS 35V1 5 Years 500bps 20 December 2025	(290,000,000)	27,044,740
NAIGS 35V1 5 Years 100bps 20 December 2025	(585,000,000)	14,333,037
小計		41,377,777
合計		82,862,057

(C) トータルリターン・スワップ

銘柄名	数量	評価額
アメリカ		米ドル
BBG Commex AG&LV Capital	4,421,000	6,026,300
合計		6,026,300

(D) 先物取引

銘柄名	買/売	数量	評価額
オーストラリア			米ドル
Australian 10 Years Bond Futures March 2021	買	1,645	331,337
Australian 3 Years Bond Futures March 2021	買	1,461	74,129
小計			405,466
カナダ			
Canadian 10 Years Bond Futures March 2021	買	1,385	497,166
フランス			
CAC40 10 EURO Futures January 2021	買	604	19,451
ドイツ			
DAX INDEX Futures March 2021	買	119	1,350,755
Euro-BTP Future March 2021	買	1,301	843,001
Euro-OAT Future March 2021	買	1,512	465,744
EURO-BUND Future March 2021	買	1,544	897,119
Swiss Market Index Futures March 2021	買	730	2,919,413
EURO-BUXL 30 Year Bond Futures March 2021	買	231	256,676
EURO STOXX 50 March 2021	買	1,939	882,437
小計			7,615,145
香港			
HSCEI Futures January 2021	買	563	927,449
HANG SENG Index Futures January 2021	買	246	1,240,384
小計			2,167,833
イタリア			
FTSE/MIB Index Futures March 2021	買	299	719,392
日本			
TOPIX Index Futures March 2021	買	705	2,361,047
オランダ			
Amsterdam Index Futures January 2021	買	268	442,827
シンガポール			
SGX Nifty 50 January 2021	買	209	20,051
NIKKEI 225 (SGX) March 2021	買	634	3,095,770
MSCI Taiwan Index Futures January 2021	買	569	528,512
FTSE China A50 January 2021	買	2,123	1,501,962
小計			5,146,295
韓国			
KOSPI2 Index Futures March 2021	買	662	4,093,644
トルコ			
BIST 30 Future February 2021	買	5,620	361,582
イギリス			
Long GILT Future March 2021	買	1,588	2,312,784
アメリカ			
S&P500 EMINI Future March 2021	買	1,020	4,212,785
United States 5 Year Note (CBT) Bond Futures March 2021	買	3,087	710,705
NASDAQ 100 E-MINI March 2021	買	371	3,160,226
United States 2 Year Note (CBT) Bond Futures March 2021	買	1,508	208,491
United States 10 Year Note (CBT) Bond Futures March 2021	買	2,697	455,734
小計			8,747,941
合計			34,890,573

銘柄名	買/売	数量	評価額
オーストラリア			米ドル
SPI 200 Futures March 2021	買	542	(507,867)
カナダ			
S&P/TSX 60 Index Futures March 2021	買	708	(1,188,585)
ドイツ			
EURO-BOBL Future March 2021	買	1,944	(34,749)
日本			
JPN 10 Year (OSE) Bond Futures March 2021	買	400	(529,707)
シンガポール			
MSCI SING IX ETS January 2021	買	897	(63,844)
南アフリカ			
FTSE/JSE TOP 40 March 2021	買	299	(74,142)
韓国			
KOREA 10 Year Bond Futures March 2021	買	660	(380,236)
KOREA 3 Year Bond Futures March 2021	買	1,224	(75,670)
小計			(455,906)
スウェーデン			
OMXS30 Index Futures January 2021	買	2,108	(243,366)
イギリス			
FTSE 100 Index Futures March 2021	買	913	(379,660)
アメリカ			
United States Long (CBT) Bond Futures March 2021	買	1,593	(1,412,899)
United States Ultra (CBT) Bond Futures March 2021	買	1,648	(925,375)
小計			(2,338,274)
合計			(5,816,100)

(E) 為替先渡取引

通貨		評価額	評価損益
買い	売り		
		米ドル	米ドル
AUD	USD	578,366,254	15,534,142
BRL	USD	18,748,296	693,992
CHF	USD	115,847,526	3,273,785
EUR	USD	1,292,592,653	36,387,815
GBP	USD	27,587,892	766,061
GBP	USD	439,843,370	9,911,669
JPY	USD	253,322,985	3,218,926
SEK	USD	230,745	9,780
SGD	USD	7,137,695	108,104
USD	BRL	1,299,216	15,893
USD	CHF	101,937	71
USD	EUR	41,563,646	60,658
USD	EUR	2,065,470	5,267
合計			69,986,163

通貨		評価額	評価損益
買い	売り		
		米ドル	米ドル
BRL	USD	6,193,511	(85,911)
CHF	USD	5,421,954	(1,458)
EUR	USD	9,973,537	(27,269)
JPY	USD	2,629,155	(96)
SGD	USD	78,332	(4)
USD	AUD	266,233	(6,985)
USD	BRL	251,413	(3,187)
USD	CHF	2,308,223	(49,980)
USD	EUR	797,879,389	(7,535,949)
USD	EUR	30,934,499	(422,240)
USD	GBP	431,094,676	(10,150,347)
USD	GBP	905,801	(15,321)
USD	JPY	314,186	(1,271)
USD	JPY	7,677,493	(73,994)
USD	SGD	76,823	(642)
合計			(18,374,654)

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

T & D マネーアカウントマザーファンド

運用報告書（全体版） 第8期（決算日 2020年9月10日）
（計算期間 2019年9月11日から2020年9月10日）

「T & D マネーアカウントマザーファンド」は、2020年9月10日に第8期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主要運用対象	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への投資は行いません。 株式への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債先物比率	純資産額
	円	騰落率			
4期（2016年9月12日）	10,016	△0.0	—	—	百万円 8
5期（2017年9月11日）	10,012	△0.0	—	—	4
6期（2018年9月10日）	10,006	△0.1	—	—	2
7期（2019年9月10日）	10,000	△0.1	—	—	2
8期（2020年9月10日）	9,995	△0.1	—	—	0.19858

（注）基準価額は1万円当たり。

（注）先物比率＝買建比率－売建比率

（注）当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率	券 率
期首(前期末) 2019年9月10日	円 10,000	% —	% —	% —	% —
9月末	9,999	△0.0	—	—	—
10月末	9,999	△0.0	—	—	—
11月末	9,999	△0.0	—	—	—
12月末	9,998	△0.0	—	—	—
2020年1月末	9,997	△0.0	—	—	—
2月末	9,997	△0.0	—	—	—
3月末	9,996	△0.0	—	—	—
4月末	9,996	△0.0	—	—	—
5月末	9,995	△0.1	—	—	—
6月末	9,995	△0.1	—	—	—
7月末	9,995	△0.1	—	—	—
8月末	9,995	△0.1	—	—	—
期 末 2020年9月10日	9,995	△0.1	—	—	—

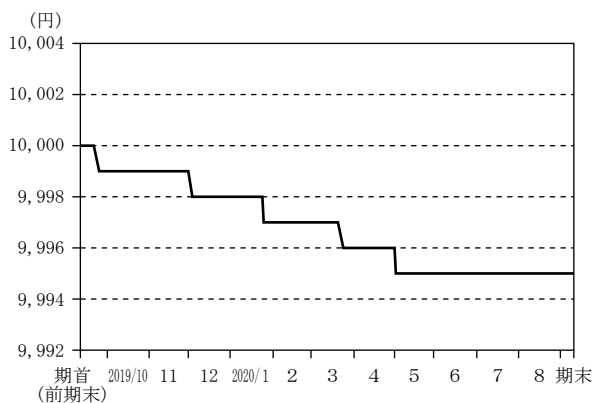
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の10,000円からスタートし、期末は9,995円へ下落しました。運用対象であるコールローンの利回りがマイナスで推移したため、下落となりました。

■ 投資環境

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.18%から期末は△0.14%となりました。期中においては、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となり、海外勢による需要の高まりや担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大の影響から厳しい状態が続くとみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の下落などの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2019年9月11日から2020年9月10日まで)

費用の明細

項目	当期	
	2019/9/11~2020/9/10	
	金額	比率
平均基準価額	9,996円	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.001% (0.001)
合計	0	0.001

(注) 費用項目につきましては5ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。また、その他費用のその他は、金銭信託に係る手数料です。

売買および取引の状況 (2019年9月11日から2020年9月10日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2019年9月11日から2020年9月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2020年9月10日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2020年9月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 198	%
投資信託財産総額	198	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年9月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	198,580円
コール・ローン等	198,580
(B) 純 資 産 総 額 (A)	198,580
元 本	198,686
次 期 繰 越 損 益 金	△ 106
(C) 受 益 権 総 口 数	198,686口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (B/C)	9,995円

(注) 期首元本額 2,289,524円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 2,090,838円

(注) 元本の欠損
 当期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は106円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.9995円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
 T&D日本株ファンド(通貨選択型) マネーボールコース 98,799円
 ロボット戦略 世界分散ファンド 49,921円
 ロボット戦略II 世界成長ファンド 49,966円

損益の状況

当期 自2019年9月11日 至2020年9月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△877円
支 払 利 息	△877
(B) そ の 他 費 用 等	△ 11
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	△888
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 56
(E) 解 約 差 損 益 金	838
(F) 合 計 (C+D+E)	△106
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	△106

(注) 損益の状況の中で

(E) 解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。